

★今後のスケジュール

- 平成 27 年 2 月頃 駅周辺地区勉強会 第 3 回
・ 駅周辺地区のまちの将来像（案）とりまとめ
- 平成 27 年 3 月頃 まちづくり委員会合同 事例視察②
・ 鉄道立体化を契機とした駅周辺のまちづくり
- 平成 27 年 5 月頃 開発協議会総会

----- キリトリ線 -----

駅周辺地区のまちづくりや勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュース第9号を読んだのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

お名前：
お電話番号：
FAX：

高砂地区開発協議会事務局
葛飾区役所 高砂地域整備担当
FAX : 03-3697-1660

住みよい高砂・駅周辺地区のまちづくり 駅周辺地区勉強会ニュース

第9号 平成27年2月

京急蒲田駅の鉄道立体化と 駅周辺のまちづくりを視察しました！

事例視察（平成 26 年 11 月 20 日）は、26 人の皆さんが参加して、大田区・京急蒲田駅周辺地区の『鉄道立体化を契機とした駅周辺のまちづくり』を視察しました。



連続立体交差事業で生まれ変わった京急蒲田駅

◆京急蒲田駅周辺地区

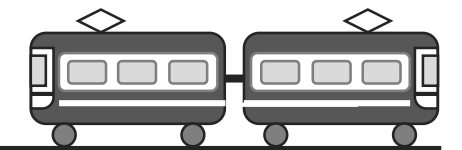
京急蒲田駅周辺は、鉄道が立体化するまでは、開かずの踏切がある、駅前広場がない、人や車の流れが阻害されている、老朽化した建物が密集しているなど、高砂と同様の問題を抱えていました。

現在の京急蒲田駅周辺では、京急線の連続立体交差事業、西口駅前の市街地再開発事業、商店街の地区計画などが同時に動いています。市街地再開発事業にあわせて整備が進められている西口駅前広場においては、ペDESTリアンデッキで駅と再開発ビルやアーケードのある商店会が直結され、スムーズな人の流れが生まれるような工夫がされています。

こうした鉄道立体化を契機に大きく変わろうとしている駅周辺の状況を大田区職員から直接ご紹介いただき、現地の見学も行いました。



大田区職員による説明の様子



発行元：高砂地区開発協議会 会長 本田幸一

協 力：葛飾区都市整備部街づくり推進課高砂地域整備担当

（担当：石田、竹内）

電話 03-5654-8344（直通） 03-3695-1111（内線 3412）

ファックス 03-3697-1660 〒124-8555 葛飾区立石 5-13-1



今年度の勉強会は、 まち全体が元気になる『駅周辺 地区の将来像』を検討しています！

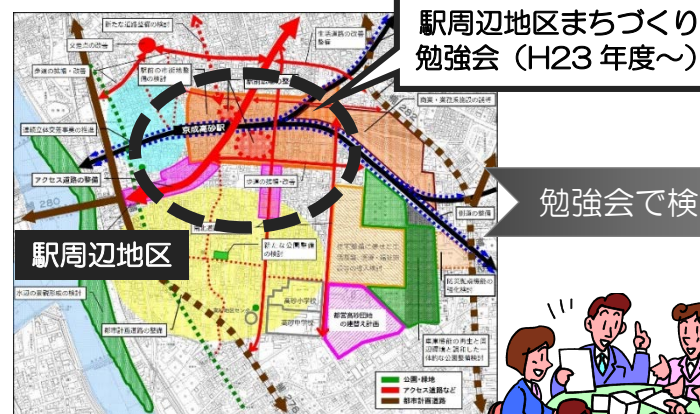
平成26年度の駅周辺地区勉強会が、8月からスタートしました。今年度の勉強会では、「駅前と新たな拠点を結ぶ人の流れ（回遊性）を生み出し、まち全体が元気になる『駅周辺地区の将来像（案）』」を検討しています。

◆「駅周辺地区の将来像」のイメージ

高砂駅周辺（全体）

高砂駅周辺<高砂2～5丁目>

- ・まちづくり基本構想（H21年度）
- ・まちづくり方針（H23年度）



駅周辺地区の将来像

1. 全体コンセプト（基本理念）

- ・駅周辺地区のまちづくりのキャッチフレーズを掲げます。

2. まちづくりの基本方針

- ・将来、駅周辺地区をどのようなまちにしたいか、簡潔な言葉でまちづくりの目標を表します。

3. まちの将来像

- ・上記のコンセプトや基本方針を実現する具体的な場所を地図に示します。



◆平成26年度 第1回勉強会（平成26年8月22日）

第1回勉強会は、将来の拠点開発をイメージした上で、色々な人物（会社員、子ども連れなど）を想定し、その人たちがまちの様々な場所（駅前、道路、商店街など）でどんなことができたらよいかをグループ毎に話し合い、発表しました。そして、そこで出てきた言葉から、駅周辺のまちづくりの基本方針や個別目標をキーワードとしてまとめました。

連立をきっかけに「ファミリー層が住みたくなる」「商業が盛んで活気ある」まちになってほしいな。



友達と立ち話をしたり、商店街の人と話したり、「人のつながりを大切にする」のも高砂の良さだね。

大規模開発地では、「緑豊か」で「四季を感じられる」ようなスペースや、「商店街と共存できる」工夫があるといいね。

やっぱり駅前は「誰もが利用しやすい」「乗り換えに便利」な所になってほしいな。



「人のつながり」があって、「商業が盛んで活気」があれば、「気持ちよく生活できる」わ。

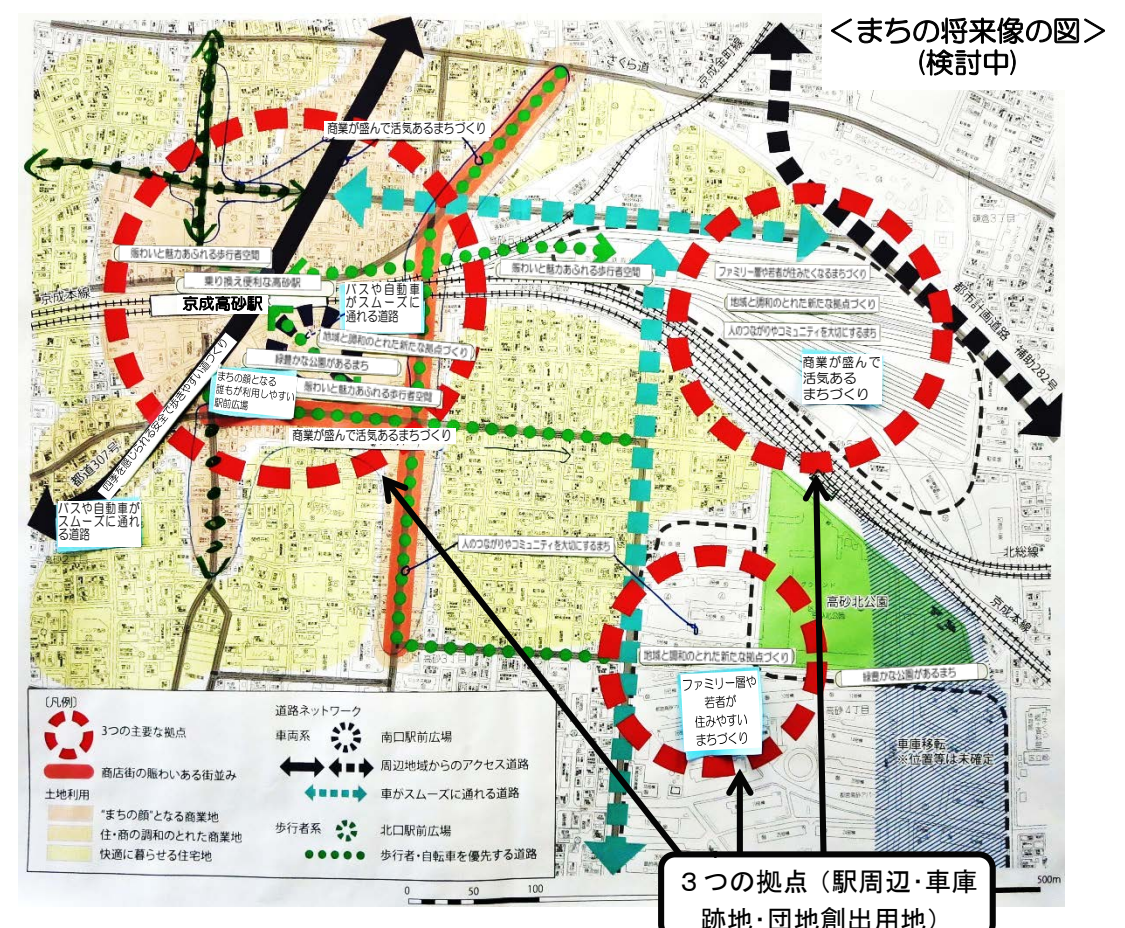
開発されて活気が出るのもいいけど、「商店街と共存できる」のが一番大切。

子どもやお年寄りに「歩きやすい」道や、「バスや自動車がスムーズに通れる」道路も必要じゃないかな。

◆平成26年度 第2回勉強会（平成26年10月23日）

第2回勉強会は、全体コンセプトとまちの将来像の図を検討しました。ワークショップでは、昨年度作成した中間まとめ（まちの将来像）の図に第1回のワークショップの成果を反映させ、人の流れや車の流れ、賑わいのイメージを図にしました。

勉強会のメンバーは、住民・商店主など立場がさまざま、まちの見方も違います。話し合いでは色々な意見が集まって、新たな発見がありました。全体コンセプトとまちの将来像の図は、次回の強会でも引き続き検討します。



「高砂音楽祭2014」で、開発協議会のPRとまちづくりアンケートをしました♪

平成26年10月26日（日）に高砂北公園で「高砂音楽祭2014」が開催されました。

高砂地区開発協議会は、メインステージ隣のテントで活動状況のパネル展示とまちづくりアンケートを実施し、大勢の方に協力を頂きました。



音楽祭会場は大にぎわい



青木区長もお越しになりました